

前 奏 黙想	祈 禱
讃美歌 18 せいなるみかみは	讃美歌 95 わが心は あまつ神を
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 サムエル記上 2:7~9	黙 禱
ルカによる福音書 1:46~56	主の祈り 564
讃美歌 94 久しく待ちにし	頌 栄 542 世をこぞりて
説 教 『マリアの声、キリストの声』	祝 禱 後 奏

ハンナの祈り(サムエル上 2:1~11)と響き合うマリアの賛歌。両者には千年もの時代的隔りがある。ハンナは乳離れするまで大切に育てた息子サムエルを、祭司エリの弟子として委ね、祈った。「主は貧しくし、また富ませ、低くし、また高めて下さる。弱い者を塵の中から立ち上がらせ、貧しい者を芥の中から高く上げ、高貴な者と共に座につかせ、栄光の座を嗣業としてお与えになる(2:7~8)。

ハンナの祈りを受け継ぐマリアの賛歌はどうか。「主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げる(ルカ1:51~52)」。ハンナの祈りは「主に逆らう者を闇の沈黙に落とされる。人は力によって勝つのではない(サムエル上 2:9)」と激しいが、マリアはいつそう過激で「権力と貧しさの逆転」を語る。ハンナの息子サムエルはやがて宗教指導者となり、神の御旨と民の要求に挟まれて難しい判断をしながら、イスラエル共同体を王国化させた。

「母の胎にあるときから、あなたはわたしの神(詩編 22:11)」。サムエルとイエスに限ったことではない。私たち一人ひとりも「母の胎にあるときから」神の御手にある。だからといって私たちは神のあやつり人形でもなければ、神の掌でいのように転がされているわけでもない。では逆に、神は人間の好き勝手に黙ってつきあってくれるのか。これも違う。あなたや私という生命がここに在り、教会というキリストの体がここに「起こっている」絶妙な奇跡のように、神の御手が私たちと共に在る。

まだ世に現れていないキリストの響きは、マリアの胎にあって彼女の歌として現れる。「わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます(ルカ1:47)」。この美しい賛美には文句がない。それでは「思い上がる者を打ち散らし(1:51)」、「権力ある者をその座から引き降ろし(1:52)」、「富める者を空腹のまま追い返される(1:53)」という物騒な言葉は、キリストの響きなのか、それともマリアの歌なのか。新約聖書学の見解では「実際のマリアの声ではなくルカ福音書の著者がマリアに仮託して語らせている」が定説。しかしそもそも、こんな荒々しさが「救い」の現実なのだろうか。

キリスト者はよく「御心」とか「聖意」といった言葉を使う。それはいったい、どのように現われ、どのように把握されるうのか。聖書の御言葉を頼りとしながらも、私抜きに「御心」はありえない、あなた抜きに「御心」はありえない。「神」を概念化すれば「燃え尽きない柴(出エジプト3:2)」となるが、具体的には「わたしはあなたの父の神である。アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である(3:6)」。つまりアブラハムと旅をした神、ヤコブと格闘した神、そして私たちと共にある神なのだ。

マリアは胎にキリストを宿して自らの歌をうたった。「身分の低い」マリアとして(1:52)、「飢えた」マリアとして(1:53)、自分を隠すことなく「力ある方が、わたしに偉大なることをなさいました(1:49)」と賛美した。マリアの言葉は、胎にあったキリストの声であると同時に、彼女自身の声であった。

マリアの声は、宿したキリストゆえに預言者のようだった。終わりの日に向かうイスラエルの民へのものであった。「(主は)僕イスラエルを受け入れて、憐みをお忘れになりません(1:54)」。ところが救いの実体はそれどころではない。人間として生まれ、語り、奇跡を為し、十字架で死に、復活するまで救いの全容は隠されていた。救いの諸々は、マリアや使徒、私たち無名の民によって証しされる。

サッカーでも野球でも 観戦しているだけでは分るまい 実際にプレイしながら判断するのだから
 緑台将棋でも構わない 私と互角にやるのだから 傍から見れば神の指し手は随分へぼに見えよう
 今日から待降節が始まります。本日礼拝後に役員会、カレーの日です、どなたでも遠慮なくお召し上がり下さい。12/2(月)臨時教区総会(愛宕町教会)。牧師の動き:12/4(水)YMCA で聖書のおはなし。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。